



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

### Contents

キーワードから知る『ミカド』の世界…………… P2・3  
 みんなおいで！ 子どものための公演特集 …… P4・5  
 びわ湖ホール声楽アンサンブルTOPICS …… P6  
 リレーエッセイ「Road to Biwako-Ring」…………… P7  
 山海塾／ロマン派症候群…………… P8  
 びわ湖ホールインフォメーション…………… P9  
 えいじゃに…………… P10・11  
 劇場・舞台芸術の力…………… P12



平成25年度 新国立劇場地域招聘オペラ公演『三文オペラ』より

サリヴァン作曲 コミック・オペラ **全2幕** 日本語上演  
日本語・英語字幕付

# ミカド

THE MIKADO



作曲：アーサー・サリヴァン  
台本：ウィリアム・S・ギルバート  
指揮：園田隆一郎  
演出・訳詞・お話：中村敬一  
※お話はびわ湖ホール公演のみ  
管弦楽：日本センチュリー交響楽団  
美術：増田寿子  
照明：山本英明  
衣裳：下斗米雪子  
振付：佐藤ミズル  
音響：押谷征仁(びわ湖ホール)  
舞台監督：牧野 優(びわ湖ホール)

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル  
ミカド 松森 治\*  
ナンキブー 二塚直紀\*  
ココ 迎 肇聡\*  
プーバー 竹内直紀\*  
ビシュタツシュ 五島真澄  
ヤムヤム 飯嶋幸子  
ビッティンシング 藤村江李奈  
ビーブポー 山際きみ佳  
カティーシャ 船越亜弥  
貴族・市民 平尾 悠、溝越美詩  
益田早織、吉川秋穂  
川野貴之、鳥影聖人  
増田貴寛、内山建人  
宮城島 康

\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー  
※都合により出演者等が変更になることがあります。

英国が誇る傑作オペラを  
びわ湖ホールならではの舞台に!

## ■そして、びわ湖から東京へ!

オペラが初めての方も通も楽しめるくびわ湖ホール オペラへの招待>シリーズ。今回は、19世紀の英国を席卷し、いまも世界中で上演される作品『ミカド』をびわ湖ホール声楽アンサンブル出演、園田隆一郎指揮、中村敬一演出のオリジナリティあふれるオペラとして日本語上演でお届けします。

そして平成25年度の「三文オペラ」に引き続き、地域招聘オペラ公演として東京・新国立劇場で上演いたします!

あらすじ

王子ナンキブーは、父ミカドから貴婦人カティーシャとの結婚を命じられますが、逃れるために家を出て、可憐な娘ヤムヤムと恋に落ちます。しかしヤムヤムには婚約者(死刑執行人ココ)がいると知り、王子は絶望。

そのとき、ココにひと月以内に死刑がなければ失職との勅令が下ります。ヤムヤムと結婚できるなら死刑にされても良いと王子が申し出て…。

## キーワードから知る『ミカド』の世界

### Keyword. 1

#### “コミック・オペラ”とは?

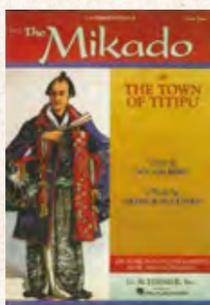
身構えることなく楽しめる“喜劇要素の強いオペラ”です。全編を通して軽快な音楽に満ちあふれ、コミカルなキャラクターたちが登場します。また、ミュージカルの原型とも言われています。

ニッポン(?)を思わせる国で繰り広げられる王子と町娘の身分違いの恋愛喜劇、とんちんかんな政治劇などが、ユーモアたっぷりに描かれます。

### Keyword. 2

#### “地域招聘公演”とは?

新国立劇場は、オペラ・バレエ・ダンス・演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場です。「新国立劇場 地域招聘公演」とは、全国各地の優れた作品を新国立劇場と各地の舞台創造団体との共催で上演する公演のこと。平成29年度は、びわ湖ホールの『ミカド』が招聘されることになりました。平成25年度のK.ワイル作曲『三文オペラ』に続いて2度目の招聘となります。



『ミカド』ヴォーカルスコア



平成25年度 新国立劇場 地域招聘オペラ公演 K.ワイル/『三文オペラ』

### びわ湖ホール オペラへの招待

2017年

8月5日 土・6日 日

両日とも14:00開演

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール 中ホール

一般 5,000(4,500)円 青少年(25歳未満) 2,000円  
シアターメイツ 1,000円

※( )内はびわ湖ホール友の会会員料金

### 平成29年度 新国立劇場 地域招聘オペラ公演

2017年

8月26日 土・27日 日

16:00開演

14:00開演

新国立劇場

中劇場 — PLAYHOUSE

S席10,800(9,800)円 A席8,640(7,640)円  
B席6,480円 C席5,400円 Z席1,620円【当日のみ】

※( )内はびわ湖ホール友の会会員料金

### Keyword. 3

#### “ジャポニスム”とは?

19世紀末のイギリスでは、ロンドン万国博覧会の日本展などの影響で“ジャポニスム”(日本趣味)が流行しました。当時作られた『ミカド』は日本をモチーフとしたオペラで、絶大な人気を博しました。しかし、中国風の名前やミカドが暴君として描かれている事情からか、戦前の日本では上演されず、戦後すぐの公演にも日本人は観客として入れませんでした。実のところ『ミカド』は英国社会を風刺したコミックオペラであって、日本を揶揄する意図はなかったとされています。

### Keyword. 4

#### “サリヴァン”とは?

アーサー・サリヴァン(1842-1900)はロンドン生まれの作曲家。1856年に王立音楽アカデミーに入学。ドイツ・ライプツィヒで指揮法を学び、音楽的な成長を遂げます。帰国後は英国最高の作曲家として評価されるようになります。30代の頃より劇作家ウィリアム・S・ギルバートと協力関係を築き、“サリヴァン・オペラ”と呼ばれるコミック・オペラを次々と発表しました。



指揮：園田隆一郎



演出：中村敬一

### びわ湖ホール オペラ講座『ミカド』(初級編)

オペラ『ミカド』について専門家わかりやすく解説します。

①7月9日(日) 講師：中村ゆかり(音楽評論家)

②7月17日(月・祝) 講師：中村敬一(演出家)

両日とも14:30開講[びわ湖ホールB1階リハーサル室]

全2回通し券2,000円 1回券(当日のみ)1,500円 (自由席)

### 東京・新国立劇場 プレトークマチネ 事前申込不要

作品の背景や音楽について、指揮者・演出家の解説と歌手による演奏を交え、聴きどころや見どころを紹介します。

7月9日(日)13:00~[東京・新国立劇場 オペラパレス ホワイエ]

出演：園田隆一郎(指揮者)、中村敬一(演出家)

演奏：飯嶋幸子\*(ヤムヤム役/ソプラノ)、鳥影聖人\*(ナンキブー役/テノール)、

迎 肇聡\*\*(ココ役/バリトン)

\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバー \*\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

参加費：1,000円(8/26・27公演チケット提示の方は無料) (自由席)

『カルメン』は、スペイン・セビリアの  
たばこ工場が舞台となっている



大編成のオーケストラ、びわ湖ホール声楽アンサンブルの演奏を届けました!

# みんなおいで! 子どものための公演特集

びわ湖ホール音楽会へ出かけよう! (学校鑑賞公演) (県事業名: ホールの子事業)

びわ湖ホールに滋賀県内の小学生等を招き、舞台芸術に直接触れられる機会を創る事業「音楽会へ出かけよう!」。7年目となる本年も5月29日~6月2日の10公演で121校、8,300人を超える子どもたちが参加しました。一流の指揮者と90名を超える大編成の京都市交響楽団、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる本格的な演奏を身近に味わっていただきました。



子どもたちをむかえるにゃんば先生。



指揮・秋山和慶、コンサートマスター・須山暢大による演奏。



オーケストラの楽器の説明。楽器によっていろんな音が出ます!



アルト、ソプラノ、バス、テノールの“声”を紹介。



全体がひとつになって『翼をください』を歌いました。



アンコールは元気な手拍子とともに『ラデツキー行進曲』を。

## 子どもたちからの声

■チェレスタの音がきれい!  
『哈利波特』の曲を弾く“チェレスタ”の音がめっちゃきれいだった。『琵琶湖周航の歌』は、はじめて歌詞をちゃんと聴いて、しぶいなあ!と思った。(雲井小5年・女子)

■音が大きくてびっくり  
オーケストラの音が大きくてびっくりした。テノールとかアルトとかの人の声もすごい。かっこよかったのは打楽器。ほくも演奏してみたい。(雲井小5年・男子)

■また音楽を聴きに行きたい!  
『翼をください』をみんなで歌ったら、ホールに声が響いてすごかった。またびわ湖ホールで音楽を聴きたい。やりたい楽器はトランペット!(志津小3年・女子)

■大きい手拍子と小さい手拍子  
音楽大好き。曲に合わせて、手拍子を大きくしたり小さくしたりするのが面白かった。シンバルをやったことがあるから、シンバル上手いと思った。(志津小3年・女子)



にゃんば先生からひと言  
びわ湖ホール  
シアターメイツ特別顧問  
にゃんば先生 © 飯田佳奈子

みんな、びわ湖ホールまで来てくれてありがとう。“音楽会”をしっかりと楽しんでくれたようで、とてもうれしかったぞ。

びわ湖ホールでは、子どもも大人も楽しめる魅力的な公演をたくさん用意して、また来てくれるのを待っているぞ。

●シアターメイツ会員の詳細はP9をご覧ください



2010年の公演より  
子どものための音楽物語  
『ピーターと狼』  
虹色の声と音を届けます!

ここがPOINT!  
5つの楽器が  
動物に命を吹き込む!

世界各国の子どもたちから愛されているロシアの音楽物語。少年ピーターと仲間の動物たちが遊んでいると、お腹をすかせた狼がやってきて…。篠原ともえが語るワクワク・ドキドキの冒険を、リッセルマン編曲による木管五重奏版の音楽とともにお届けします。奏者の息づかいも聞こえるような小ホールの空間でお楽しみください。

7月22日(土)  
11:00/14:00【小ホール】  
作:S. プロコフィエフ 編曲:J. リッセルマン  
構成・演出:唐谷裕子 おはなし:篠原ともえ  
出演:榎田雅祥(フルート)、大島弥州夫(オーボエ)  
金井信之(クラリネット)、高橋将純(ホルン)、小林佑太郎(ファゴット) 篠原ともえ  
子ども(4歳~中学生)1,000円 大人2,000円



東京バレエ団 子どものためのバレエ  
『ねむれる森の美女』  
ファンタジックな舞台美術も素敵

ここがPOINT!  
初めてのバレエ鑑賞に  
ぴったりよ

登場人物である式典長(カタラビュット)のナビゲーションと共に、絵本をめくるようにわかりやすくお話が進みます。悪い妖精から、“16歳の誕生日に死ぬ”と呪いをかけられたオーロラ姫。リラの精は“100年後に運命の人が口づけすれば眠りから覚める”と言い…。この公演には滋賀県内のバレエ教室に通う子どもたち12人が、オーロラ姫の子ども時代や7人の小人役などで出演します。

7月30日(日)  
16:00【大ホール】  
音楽:P.I.チャイコフスキー 原振付:M.プティパ  
改訂振付:飯田宗孝ほか 舞台美術:永井郁子  
子ども(4歳~中学生)2,000円 大人3,000円



長靴をはいた猫と白い猫

## 大人も子どもも楽しめる公演続々!



子供のためのシェイクスピア  
『リア王』

ここがPOINT!  
親子で楽しめる  
シェイクスピア!

四大悲劇のひとつ、リア王をシェイクスピアの作品の面白さをわかりやすく舞台化するシリーズ。今回は四大悲劇のひとつ『リア王』を上演します。ブリテンの老王リアは、3人の娘に領地を譲ろうと考え、自分への愛の深さを娘に問います。長女と次女は心にもないことを言って父を喜ばせ、三女は率直な思いを言い父の怒りをかいます。しかし長女と次女は次第に態度が変わり…。リア王は正気を失い、嵐の中をさまよいます。

8月26日(土)  
14:00【中ホール】  
作:W.シェイクスピア 翻訳:小田島雄志  
脚本・演出:山崎清介 出演:福井貴一、戸谷昌弘、土屋良太、佐藤あかり、山崎清介ほか  
シアターメイツ1,000円 青少年(25歳未満)2,000円 一般3,500円



昨年公演『オセロー』より



親子のためのファミリー・ミュージカル  
『ピノキオ~または白雪姫の悲劇~』

ここがPOINT!  
おとぎ話の主人公が  
つきつきと現れる!?

想像力が刺激される亜門版ピノキオ  
宮本亜門版のピノキオは、きつね、こおるぎのほか、白雪姫に魔王まで(!)、いろんなキャラクターが登場するワンダーランドです。勉強と努力が嫌いなピノキオは、ジェベツじいさんのもとを抜け出してしまいます。まわりの人はピノキオのいたずらにでてこまい…。ピノキオの冒険、成長の物語を色とりどりの音楽に乗せてつづるファンタジックなミュージカルにご期待ください。

9月2日(土) 14:00  
3日(日) 11:00【中ホール】  
原作:C.コロデー 作曲・音楽監督:深沢桂子 演出・脚色:宮本亜門  
共同演出:振付:福島桂子 美術:下田昌克、大島広子 出演:小此木まり、池田有希子ほか  
子ども(4歳~中学生)2,000円 大人3,000円



いたずら好きピノキオ

※4公演とも税込価格 ※全席指定

# びわ湖ホール声楽アンサンブル

厳しいオーディションを経て選ばれたびわ湖ホール専属の声楽家集団。1998年の発足以来、当ホールの創造活動の核としてオペラ公演や定期公演に出演するほか、全国各地で多数の公演を行っています。オペラのソリストとして活躍するメンバーがそれぞれに歌うだけでなく、ひとつの音楽として声を合わせる演奏は圧巻です。



益田 早織 (アルト)

私が育った埼玉県の街には海も湖も山も無かったので、自然いっぱいの滋賀県で、日々音楽漬けという素晴らしい環境をとっても嬉しく思っています。心を込めて伝えるということを大切に歌っています。



溝越 美詩 (アルト)

神戸から来ました！心が洗われる景色の美しさや心地よい浜風、立派な設備、恵まれた環境で大好きな歌が歌える感謝の気持ちを胸に、素敵なハーモニーを皆さまに届けたいと思います。



宮城島 康 (バス)

滋賀県から遥か遠く、東北の宮城県出身の宮城島です。人生初！関西での新生活。まだまだ慣れない事もありますが、美しい琵琶湖を眺めながら、皆様に素晴らしい音楽を届けられるよう邁進します。



## 美しいハーモニーが和の情景を映します

### びわ湖ホール声楽アンサンブル第64回定期公演 すてきな日本の合唱曲選

様々なジャンルの声楽曲に取り組む定期公演。今回は指揮に日本合唱音楽界の巨匠 田中信昭氏を迎えます。4名の日本人作曲家が紡ぐ合唱名曲の数々を限りなく美しいハーモニーでお楽しみください。またピアノには活発な創作演奏活動を展開している中嶋 香を迎え、豊かな音楽をお届けします。

- 〈プログラム〉
- ・武満徹「翼(詩:武満徹)」ほか
  - ・間宮芳生「合唱のためのコンポジション第16番」
  - ・平川加恵「三節による郷愁の彼方(詩:石原三郎)」
  - ・三善見編曲「唱歌の四季」

9月17日(日) 14:00開演 【小ホール】

一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円  
指揮:田中信昭 ピアノ:中嶋 香

第65回定期公演 12月16日(土) 14:00開演【小ホール】

第66回定期公演 2018年3月24日(土) 14:00開演【小ホール】

第64回・第65回・第66回3公演セット券 7,500円(一般のみ) 発売中



ピアノ:中嶋 香

### 指揮を務める田中信昭氏よりメッセージ

びわ湖ホール声楽アンサンブルの皆さんと一緒に、また音楽創りを楽しむことができるのは私にとってまことに嬉しく幸せなことです。若く新鮮で、純粋なびわ湖の声楽家たちが創る音楽は、格別な美しさや魅力と楽しさに満ちています。プログラムも、この歌手の皆さんにふさわしいものを私の好きな作品の中から選びました。



指揮:田中信昭

## TOPICS

### びわ湖ホール芸術監督・沼尻竜典が紫綬褒章を受章

オペラ文化の普及、指揮者・作曲家としての現代音楽への取り組みを評価され、2017年春の紫綬褒章に沼尻竜典が選ばれました。1998年の開館当初より、初代芸術監督若杉 弘氏のもとオペラを指揮し、2007年芸術監督に就任後は、積極的に国内外の劇場などと連携し、数々のオペラプロダクションを成功に導くなど、20年近くびわ湖ホールとともに歩んできました。4月29日、ラ・フォル・ジュルネびわ湖2017のメインロビーコンサートにて、受章報告を行いました。



左より沼尻竜典、三日月大造滋賀県知事

### 沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅢ

#### ～『ラ・ボエーム』指揮法～ 聴講生募集

沼尻竜典が講師を務める指揮者セミナーを今年も開講し、その様子を公開します。歌劇『ラ・ボエーム』を題材に、公募で選ばれた若手指揮者たちがプロのオーケストラ、歌手を前に指揮をし、実践的な方法を学びます。舞台後方には巨大スクリーンが設置され、指導の様子をご覧いただけます。



8月7日(月) 13:00～17:00  
8日(火) 13:00～17:00  
9日(水) 11:00～16:00  
【大ホール】 ※若干時間が前後する可能性があります。

講師:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)  
管弦楽:大阪交響楽団  
ソリスト:びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーほか  
3日間通し券:一般5,000円 U30(30歳以下)2,500円  
1日券:一般2,000円 U30(30歳以下)1,000円 (自由席)



びわ湖ホールでは、2016年度から4年をかけて、ワーグナーの超大作『ニーベルングの指環』四部作を新制作で上演いたします。  
“びわ湖リング”をより深く楽しむためのリレーエッセイ “Road to Biwako-Ring”です。



### この響きは子供の頃、耳にしたことがあるみたい……。《ワルキューレ》第1幕、ジークリンデ)

私とワーグナーとの出会いは、北欧の港町で過ごした幼年時代に遡る。父の仕事の関係でコペンハーゲンに滞在した半年間、幼稚園にも通わぬ私は一つ年下の弟とともに母に連れられ、白鳥やカモメの群れを眺めながら、水辺を散歩するのが日課だった。そして帰宅すると、居間のスピーカーからは、必ずと言ってよいほど、当時父が熱心に聴いていた《ニーベルングの指環》の音楽が流れてきたのである。

四部作のなかでも、特に私が親しんだのは《ワルキューレ》だった。白夜の季節、まだ真昼間のような陽ざしをカーテンで無理やり閉ざした寝室で眠りにつくたびに、父が歌ってくれた「ヴォータンの告別」のまどろみの動機。勇壮な「ワルキューレの騎行」もたまち子供の耳にアピールした。

とはいえ、その頃の私の関心は音楽よりも、むしろレコードの付録解説書の挿絵に向けられていたようだ。馬を駆って嵐の空を天翔けてゆくワルキューレの姿は幼い私の想像力を刺激したし、槍と盾を手にした初演時のブリュンヒルデの舞台写真にも興味を惹かれた。とりわけ私を魅了したのは、彼女がかぶる、鳥の翼を左右にあしらったヘルメットの形状だった。あんなのが手に入ったら！ そう考えた私は散歩のたび、通りに落ちている水鳥の羽を拾い集めた。そして、その羽をいっぱい貼り付けた紙の帽子をかぶり、ホトトギスと奇声を発しながら、弟とベッドの上を跳ねまわるのが一番の楽しみとなったのである。

今思うに、それはTVなどの娯楽や子供たちの遊びから遮断された異国の特殊な環境下での代償行為だったのだろう。その証拠に、帰国して小学校に入学した私はたちまちウルトラマンに夢中になり、虫取りや野球に興じるようになって、ワーグナーには見向きもしなくなったのである。

あまりに個人的な思い出を書いたのはほかでもない、ワーグナーの音楽が放つ魅力が人の記憶のあり

方に強く結びついているような気がするからだ。事実、大きくなってから、長い時間の隔たりを置いて再び《ニーベルングの指環》の音楽に接したとき、私を襲ったのは、今目の前で鳴っている音楽が心の奥底に眠る記憶と共振しながら、遙かな昔の光景へと自分の意識を引きずり込んでゆくような不思議な感覚だった。以来、本格的にワーグナーに魅せられて今日にいたっている。

私の特殊な体験は、ワーグナーの音楽を聴く者誰しもの心に起きる普遍的な現象に通じているはずだ。とりわけ、作中で何度も繰り返されるライトモチーフは舞台の上の「今ここ」を重ねて、以前にそれが鳴ったときの情景にも想像をいざなう。たとえば《ワルキューレ》第1幕でジークリンデが婚礼の夜のエピソードを語る時、何度も荘重に繰り返される「(神々の城)ヴァルハラ」の動機は、聴き手の心に前作《ラインの黄金》のさまざまな場面や神々の長ヴォータンの姿をありありと呼び起こすだろう。いや、必ずしも正確に思い出さなくともよい。この響きは以前にどこかで耳にしたよさという既知感こそが私たちの想像を刺激するのだ。冒頭に掲げたジークリンデの台詞は彼女個人の思い出だけでなく、ワーグナーの音楽が持つそうした記憶の喚起力を象徴的に物語るものでもあろう。

北欧の港町にも通じる水辺のホールで上演される来年3月の《ワルキューレ》。幕間は外をそぞろ歩くことにしよう。目の前に広がる湖を前に、聴いたばかりの音楽を反芻しながら、幼年時代のどんな光景が脳裏に蘇るのか、今から私は楽しみでならない。

### Profile 山崎 太郎

1961年生まれ。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。専門はドイツ・オペラ(とりわけリヒャルト・ワーグナーの楽劇研究)。著書に『ニーベルングの指環』教養講座(アルテスパブリッシング)などがある。

## 響きと追憶

### びわ湖ホールの《ワルキューレ》上演に寄せて

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

山崎 太郎



『ラインの黄金』より(2017年3月上演)





# 山海塾『海の賑わい 陸の静寂—めぐり』

コンテンポラリーダンスの最高峰・パリ市立劇場を創作の拠点とする山海塾。天児牛大が演出・振付のほか、空間や衣裳デザインも創作し、高い評価を受ける舞踏カンパニーです。『めぐり』は2015年に北九州芸術劇場で世界初演され、今回が関西初演となります。「山海塾をみることは、波のように押し寄せる美の体験だ。天児牛大の強固な表現がここにある…まるで作品自体が感情を宿しているかのようだ(舞踊批評家 フィリップ・ノワゼット)」と絶賛された今作をぜひびわ湖ホールで。

## 7月2日(日) 14:00開演 [中ホール]

演出・振付・デザイン:天児牛大 音楽:加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎  
舞踏手:天児牛大、蟬丸、岩下徹、竹内晶、市原昭仁、松岡大、石井則仁、百木俊介  
共同プロデュース:北九州芸術劇場/パリ市立劇場/エスプラネードシアターズ・オン・ザ・ベイ/山海塾  
初演:2015年3月北九州芸術劇場  
一般4,500(4,000)円 青少年(25歳未満)3,000円 [全席指定] ※( )内はびわ湖ホール友の会会員料金

◆ 終演後、天児牛大によるポストパフォーマンス・トークを開催します! ◆  
ゲスト=小沼純一(早稲田大学教授、音楽・文芸批評)

### 変化・変容していく世界を描く 天児牛大

『めぐり』は古代、深海で生息していた「ウミユリ」をテーマとしています。海で繁栄していたものが地殻変動によって地表に化石として現れる。化石なものというものはこの世にはなく、私たちの日常も常に揺れ動きながら変化していく。そんな変容する世界をとらえてみたいと思いました。



7つのシーンから成る「めぐり」。舞台美術はテーマの「ウミユリ」をモチーフにしている。天児氏も2つのシーンでソロを踊る。

### TOPICS

#### 天児牛大氏を迎え記者懇談会を行いました!

5月24日、天児牛大氏を迎え記者懇談会を行いました。作品への想いを静かに語る天児牛大氏。世界7か国16都市をまわり、初演時よりさらに熟成された舞台に期待が高まります。

「めぐり」のダイジェストPV、天児氏からのビデオメッセージなどをHPで公開中です。ぜひチェックしてください。



## クラシック音楽×演劇の コラボレーション! 『ロマン派症候群』



内藤裕敬

仲道郁代

クラシック音楽と演劇で紡ぎ出される、新しい世界観。ロマン派を代表する作曲家、ショパンとブラームスに焦点をあてたリーディング劇です。生きた時代と駆け抜けた世界の違う2人の作曲家がもしも偶然の出会いを果たしていたら…。南河内万歳一座・座長の内藤裕敬がユーモアを織り交ぜながら2人の人生を紐解き、「ことば」だけでは伝えられない心の動きを国際的ピアニスト仲道郁代監修による「音楽」で表現。さらに「音楽」だけでは伝えられない葛藤を「ことば」が補っていきます。劇団ナイロン100°Cの松永玲子と実力俳優優・坂口修一の演技、仲道郁代(ピアノ)、川久保賜紀(ヴァイオリン)、加藤文枝(チェロ)の演奏がその世界観を彩ります。ことばと楽曲からイマジネーションを感じとってください。



写真:谷古宇正彦(舞台写真家)2016年1月上田公演



川久保賜紀

加藤文枝

【ロマン派症候群】関連プログラム  
仲道郁代アナリーゼ(楽曲分析)ワークショップ  
『ロマン派症候群』に登場する楽曲をピアニスト・仲道郁代がやさしく解説します。  
9月14日(木) 15:00[中ホール]  
定員:200名(先着順)  
参加費:公演チケット提示の方は無料  
一般1,000円 青少年(25歳未満)500円  
申込方法:7月13日(木)10:00~電話受付  
びわ湖ホール事業部 TEL.077-523-7152(火曜休館)

## 9月16日(土) 15:00開演 [中ホール]

作・演出:内藤裕敬 音楽監修・ピアノ演奏:仲道郁代 出演:松永玲子、坂口修一  
ヴァイオリン:川久保賜紀 チェロ:加藤文枝  
一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円 [全席指定]  
7月6日(木)友の会優先発売 7月8日(土)一般発売

BIWAKO HALL Associates

## 「びわ湖ホール友の会」会員募集中

### 一般会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター  
TEL.077-523-7136

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスをご提供いたします。

【一般会員】年会費2,500円(税込)  
【クレジット一般会員】年会費2,379円(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

### サポート会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター  
TEL.077-523-7136

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

### 特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する諸事業に賛同し、これを支援して下さる方々です。

お問い合わせ 広報マーケティング部

TEL.077-523-7140

《特別会員》のみならず

主催公演へのご招待 チケット優先予約 ゲネプロにご招待

◎メインロビーへの企業名掲示 ◎びわ湖ホールHP、「湖響」への企業名掲載およびリンク敷設 ◎びわ湖大花火大会観覧ご招待など

※サポート会員の特典もすべてご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込)

### 会員募集中

びわ湖ホール シアターメイツ 特別顧問  
いんばら先生  
© 飯田佳奈子

6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会できます。

無料

入会金・年会費

**特典1**

シアターメイツ優待公演は  
青少年チケット料金の半額

**特典2**

シアターメイツ会員限定  
イベントに参加できる

**特典3**

ご入会時に、劇場を楽しむ  
ためのオリジナルブックを  
プレゼント

びわ湖ホール主催公演ご来場で1ポイント進呈!

さらに 5ポイント集めると、スペシャルプレゼント

ご入会方法など、詳しくはHPをご覧ください。

### ちよっといいモノ

びわ湖ホール グッズ紹介

びわ湖ホールでは、舞台芸術サロンでセレクトグッズを販売しています。今回は新商品「ちはやふるグッズ」をご紹介します。

競技かるたの聖地・近江神宮が舞台となる作品「ちはやふる」。登場キャラクターたちがいぎいぎと描かれた掛け時計の販売を開始しました。レッドとゴールドの2種類。どちらも札が飛んでくるような迫力あるデザインです! ちはやふる掛け時計 各5,400円(税込)

© 末次由紀 講談社・VAP・NTV

### びわ湖ホール 舞台芸術基金

~舞台芸術へのご寄付をお待ちしています~

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります(ご寄付の際にお選びいただけます)

**1. びわ湖ホール声楽アンサンブルへのご支援**

びわ湖ホール声楽アンサンブルの様々な公演活動やアンサンブルメンバーの育成に関する事業に活用させていただきます。

**2. 「次世代育成事業」へのご支援**

子どもや若い人々を対象とした様々な自主事業やアンサンブルメンバーの育成に関する事業に活用させていただきます。

**3. 「舞台芸術全般」へのご支援**

幅広く舞台芸術をお楽しみいただける機会を提供するびわ湖ホールの自主事業全般に活用させていただきます。

■インターネットでお申込み&クレジットカードによる決済で簡単にお手続きいただけます。  
https://www.biwako-hall.or.jp  
■金融機関からも振込いただけます。

★1~3以外の寄付に関することも承ります。  
★びわ湖ホールは公益財団法人として、税額控除対象法人としての証明を受けています。舞台芸術基金への個人からの寄付金については確定申告により、「所得控除」または「税額控除」のどちらか有利な優遇税制が適用いただけます。

<お問い合わせ>  
びわ湖ホール 広報マーケティング部  
TEL.077-523-7140

代表銘菓

季節を織り込んだ  
懐石料理

梅の蔵

自家梅蔵醸造の梅酒

叶匠壽庵 寿長生の郷

〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1 <お問い合わせ> TEL.077-546-3131 http://www.kanou.com

定休日 通常水曜日 営業時間 10:00~17:00  
※3月・11月は休まず営業いたします。

### はずむ心のお買物

平和堂

〒522-8511 滋賀県彦根市小泉町31番地  
TEL (0749) 23-3150 FAX (0749) 23-3118  
URL http://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社平和堂

平成29年4月1日から(公財) 滋賀県文化振興事業団の文化芸術部門と(公財) びわ湖ホールが統合し、(公財) びわ湖芸術文化財団として新たにスタートを切りました。それに伴い、昨年度まで県文化振興事業団が発行していた滋賀文化元氣室(4月1日から「地域創造部」に継承)と文化産業交流会館の文化情報を盛り込んだ文化情報紙「えいじゃに」は、「湖響」のなかで掲載します。今回は、滋賀県立文化産業交流会館の事業を紹介します。

第1回目は、舞台芸術アドバイザーであり、「長栄座」公演制作事業監修の久保田敏子さんにお聞きしました。

## 「古典芸能」は、淘汰され 本当に良いものが現代まで伝わったもの——

くぼた さとこ  
久保田 敏子さん



撮影：山下一夫

Profile / 久保田 敏子(くぼた さとこ)

滋賀県立文化産業交流会館舞台芸術アドバイザー、「長栄座」事業監修。京都市立芸術大学名誉教授、京都コンサートホール企画運営委員、秋篠音楽堂運営協議会専門委員、NPO法人日本の音振興普及協会「楽音会」副理事長。京都創生座企画委員、社団法人東洋音楽学会会長、文化庁文化財第四専門調査会委員、文化庁芸術祭審査員等を歴任。テレビやラジオ番組の講師や、ポラ伝統文化財団ポラ賞、なほ芸術祭新進舞踊家競演会等の審査員を務めるなど、多方面で日本伝統文化の普及、振興に努めている。平成25年度京都市文化功労賞表彰。文化功労にて平成27年度大阪市民表彰を受ける。

れました。三味線は持ち運びも簡単で、それまでの楽器のように特定階級の専有物ではない斬新でモダンな楽器として、当時の人々を熱狂させたのです。いまならさしずめエレキギターでしょうか。

歌舞伎は庶民の最大の娯楽でした。一年に数回、おしゃれをして出かける特別な催し。役者たちを描いた絵がプロマイドのように飛ぶように売れ、髪型や着物の柄、帯の結び方などがファッションリーダーとして巷に流行していきました。

そんなふうには時代背景や歴史が知識として入り、その時代に生きた人の「熱」が感じられるとより親しみやすくなると思います。たとえば学校の古文の授業で『源氏物語』を習うとき、光源氏が奏でた楽器の音を実際に聞くとか、歴史の授業で江戸時代の文化を学ぶときに、歌舞伎を見るときか、多面的交差的な出会いの機会があればいいなと思います。

### これからの長栄座

滋賀県は、尺八の山本邦山さん、浄瑠璃の常磐津一巴太夫さん、お二人の人間国宝の影響もあってか、「古典芸能」の継承に関しては先進的だと思っています。文化産業交流会館のなかの「長栄座」もようやく注目されてきて、「今年の長栄座は何をやるのですか?」と東京で聞かれたり、全国的に知名度が上がっています。

滋賀県邦楽・邦舞専門集団「しゅはり」の活躍の場にもなっています。滋賀県や地域性を上手く生かしたものを、なじみやすく、上から目線ではなく観客と一緒に高めていく姿勢でやるのがいいと思っています。これからも多くの県民のみなさんと一緒に、古典芸能の楽しさをおおいに満喫できるといいですね。

### 時代に受け入れられながら継承されていく

「古典芸能」はよく存続が危ない、「絶滅危惧種、だなんて言われていますが、私はそうは思いません。むしろオリンピックなどの国際的な催事をきっかけに、国際社会で日本の固有の文化や伝統が見なおされ、評価されてきている。そのことをみんなが自覚するようになった時代だと思っています。個人でも旅行をしたり、海外で活躍する人が増えてきて、よその国の音楽や芸能に触れたとき、「じゃあ日本のは?」と聞かれてきちんと語れるか? 日本の能楽、文楽や歌舞伎が世界遺産に登録されていることを説明ができるか?そういうことに気づくことができるようになりつつあるのです。

いまの時代は音楽にしても芸能にしても、選択肢が多種多様であふれています。「古典芸能」もその一つなんですが、「古典」と呼ばれているものは、実は、長い年月のなかで、多くの人に支持され、淘汰されて、優れたものだけが現代まで残ったものなのです。

だけど古いものだから博物館で保管しましょう、ではない。伝統はあるけど、それは時代によって変化していくもの。それをベースに新しいものを生み出しながら継承されていくのが「古典」だと思っています。

### 「古典」に出会うきっかけ、少しの手引きを

教育大学で教員として学生を教えていたときは、歌舞伎の台詞や謡、地歌箏曲の一部分を聞かせて、学生に言葉の聞き取りをさせたりして、聞き間違いを見つけては大笑いをしたこともありました。声楽の授業で狂言や謡を取り入れたときは、学生のなかで、しばらく狂言ことばが流行ったりしたこともありました。彼らは最初に少し手引きをしてあげたら、そもそも素材は良いものなので、あとはそこから自分たちなりの興味を育てていきます。

こんな楽器が自分でも弾けたらカッコいいよね、そういう感覚でいいと思います。きっかけはなんでもいい。それをうまく提供できるかどうか教える側の仕事ですね。さらに興味を深めた人はお稽古を始めたらいいし、自分では演奏はしなくても鑑賞眼を鍛えて楽しむ側になってもいいわけです。

### 時代や歴史と共に知る

お箏はそもそも貴族と僧侶の楽器でしたが、江戸時代には庶民一般にも広がり、流行の浄瑠璃を取り入れた山田流箏曲も誕生しました。三味線が日本に入ってきたのは室町の末頃です。すぐに大衆芸能として誕生したばかりの歌舞伎にも取り入れら

## 長栄座 会場/滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール内特設舞台「長栄座」

### 落語と音曲「地獄八景亡者戯」 ～ようこそ林家染二の世界へ～

日 時：11月11日(土) 15時開演  
出 演：林家染二、京都宮川町歌舞会 芸舞妓 ほか  
入場料：一般 2,500円、25歳以下 1,500円 [自由席]

地獄めぐりをテーマにした上方落語の屈指の大ネタで登場人物が多彩な芸を披露する落語と芝居の新感覚コラボ企画です。



撮影：西岡千春

林家染二

### 長栄座とは?

明治時代、長浜市に建てられた芝居小屋「長栄座」を、平成23年度から文化産業交流会館イベントホールに期間限定の特設舞台として再現し、古典芸能に親しむ環境づくりに努めてきました。昨年度は、舞台をリニューアルし、古典芸能をもっと身近に感じていただけるよう親しみやすい大衆芸能から本格的な古典まで幅広いラインナップでお迎えました。

### 滋賀発オリンピック・パラリンピックに向けての文化 『伝承・発展』子どもたちの芸能～新しい芸能

日 時：11月12日(日) 15時開演  
出 演：茂山千三郎、古橋正邦 ほか  
入場料：一般 2,000円、25歳以下 1,000円 [自由席]

滋賀の古典芸能の担い手である子どもたちのパフォーマンスおよび滋賀北部に古くから伝わる「糸取り」をテーマにした創作・邦楽舞踊劇「淡海の糸」をオリンピック・パラリンピックに向けた企画として上演。



撮影：西岡千春

茂山千三郎

滋 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

## COLUMN

### ニットキャップシアター ごまのはえ お待ちしてます!

昨年の12月に上演した『美味しいメロディ』を、今年の冬に再び上演します。もちろん今回も出演者は滋賀県の皆さん。歌いたい人、演じたい人、踊りたい人、大募集です。昨年は最年少が小学5年生、最年長が70代(推測)の方まで幅広い世代が一緒になってお芝居を作りました。色んな世代がごちゃ混ぜになって創作するのは本当に楽しいです。大人が子どもに教えることもあれば、子どもが大人に教えることもある。演劇に関してはみな一年生ですから、稽古を重ねるにつれて年齢の壁もなくなって、一年だけの付き合いだけど、本当の劇団のような連帯感を感じることができました。今年はどうなることやら。お待ちしております!

<情報>12月3日(日)、文化産業交流会館イベントホールで音楽劇「美味しいメロディ改」を開催します。今年も脚本と演出に、ごまのはえさんを迎え、地元演劇関係者とともに子どもたちが出演する舞台を制作します。現在、6月24日(土)のオリエンテーションに向けて、出演者を募集しています。



昨年の制作の様子(中央:ごまのはえ)

## EVENT

### ■ 県民協働企画事業

#### 絹の里から ～知っていますか 声楽と和楽器の素敵な音色～

和楽器の多彩な音色と声楽とのアンサンブルをお楽しみいただける公演。滋賀にゆかりのある作品を始め、童謡、唱歌、ポピュラーソングまで幅広い年齢の方にお楽しみいただける内容です。

作曲と編曲は奏者でもある池上眞吾の担当。歌は長浜市高月町出身のソプラノ歌手・横山政美。和楽器の新たな魅力や可能性を感じる意欲的な企画です。また当日は県内唯一の和楽器系メーカー「丸三八シモト」(長浜市木之本町)による糸の展示を予定しています。代表取締役社長・橋本英宗氏が今回の公演の提案者です。

日 時：9月23日(祝・土) 14時開演  
会 場：滋賀県立文化産業交流会館 小劇場  
出 演：横山政美(ソプラノ)、池上眞吾(作曲・編曲・箏・三絃・胡弓)、日吉章吾(箏)、吉澤延隆(十七絃)、大河内淳矢(尺八)  
入場料：一般 2,500円 25歳以下 1,000円 [自由席] ※当日各500円増



横山政美

### ■ 滋賀県アートコラボレーション事業

#### しがぎんホール ピアノ・フェスティバル2017

日 時：9月17日(日) ①13時開演 ②17時開演 18日(祝・月) ③11時開演 ④15時開演  
会 場：しがぎんホール  
出 演：①リード希亜奈、武田優美 ②北川恵美、稲垣聡 ③西村静香、上田明美 ④児嶋一江  
入場料：[各公演]一般 2,000円 25歳以下 1,000円 [一日券]一般 3,000円 25歳以下 1,500円 [自由席]



稲垣聡



児嶋一江

# 劇場・舞台芸術の力

平成29年4月より、びわ湖芸術文化財団として新たに活動を始めています。劇場、音楽、演劇などへの想いを、びわ湖ホール&文化産業交流会館の劇場関係者が綴ります。

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 山中 隆 館長



この4月から、滋賀県文化振興事業団の文化部門と一緒に、「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」となりました。現在、県立の劇場は、びわ湖ホールと米原の文化産業交流会館の二つで、統合された新しい財団がこの二つを運営しています。同事業団は、過去において多くの県立文芸会館を運営してきた経緯があり、今でも、県内各地のホールと密接な信頼関係があります。新財団では、地域創造部という組織を作っており、地域のホールとの連携を深めていきたいと思っています。

このコラムは、「劇場・舞台芸術の力」というタイトルですが、劇場は単なる建物ではありません。びわ湖ホールは、世界に誇るオペラハウスで、創造の

核となるびわ湖ホール声楽アンサンブルには、全国から優秀な若手声楽家がオーディションを受けにやってきます。そして、切磋琢磨、数多くのオペラに出演する傍ら、地域のホールや小中学校を巡ります。何のために声楽家を目指すのか、子どもたちをはじめ多くの人々とのふれあいを通じて、芸術の力を実感していくことになります。

「音楽をきいていると心がポカポカしました」これは、私がびわ湖ホールに着任した直後の「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！」に参加した小学生が書いてくれた感想です。忙しい日々を乗り越える力をこのフレーズからもらいました。今でも大切にしています。

声楽アンサンブルと一緒に歌ったら、不登校から立ち直れたという、嬉しい報告もいただいています。芸術には素晴らしい力があります。みなさん、お近くのホールにでかけませんか。食わず嫌いはもったいないですよ！



びわ湖ホール(大津市)



文化産業交流会館(米原市)

滋賀県立芸術劇場

## びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号  
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147  
https://www.biwako-hall.or.jp

びわ湖ホール 検索

### チケットInformation



**インターネット予約** <https://www.biwako-hall.or.jp>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの方は[https://www2.biwako-hall.or.jp/eticket\\_mobile/](https://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/)をご利用ください。※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのまますべていただけます。



**電話予約 チケットセンター**

**TEL.077 (523) 7136**  
10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日  
8月13日~18日休館。



**窓口販売**

**2階チケットセンター**

10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日  
8月13日~18日休館。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※( )内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。  
※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場できません。

**【青少年割引当日券の販売】** 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

**【シアターメイツ優待公演】** シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



《アクセス》

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のりかえで約60分

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分またはバス約7分(びわ湖ホール下車)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場の案内》有料 849台 7:00~23:00 料金:4時間まで毎時210円

## 滋賀県立文化産業交流会館

Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137  
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119

<http://www.s-bunsan.jp/>

文産会館 検索

### チケットInformation



**インターネットから** <http://www.s-bunsan.jp/ticket>

**オンラインチケット24時間購入・座席指定ができます。**  
パソコン・スマートフォン・携帯から24時間いつでも座席を選択してチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブンでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

**【利用方法】**①会員登録(無料) ②チケット予約・購入 ③チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン)

※ご利用には、会員登録(無料)が必要です。  
※登録した会員IDとパスワードを入力すると、購入できる公演のリストが画面に表示されます。  
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかる場合があります。



**お電話、窓口から 直接、下記までお問い合わせください。**

**滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52) 5111**

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)



《アクセス》

(電車でお越しの方)

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

(お車でお越しの方)

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場の案内》360台